

## 米松 105\*240 の梁材のナグリ加工について

今回の依頼は米松材 105\*240\*2700 の桁のナグリ加工でナグリ面は下面、左右側面の 3 面です。

また、ナグリ加工はプレカット加工後に弊社にて行い、ナグリ柄は N-3 で、この基本柄より溝幅を 3 mm 程度広げて欲しいとのことで、同じ米松の梁端材に要望のサンプル柄を加工し、工場でのナグリの研磨の程度も確認頂いて加工に入りました。



梁のナグリとして見せる場合、溝幅を 3 mm 程度広くしたいとの要望でピットの掘り込み深さを変えています。

掘り込み深さは 2.5mm 程度です。



今回は梁 105\*240 ですので、この NC 加工機で間に合いましたが、H240 を超える梁につきましては NC 加工機が変わります。



加工効率を上げるため、梁の左右の側面の加工は 2 本並べて加工致します。





仕上がり状況。



ナグリ柄の太陽光での  
陰影状況です。

単なる構造材の梁からインテリア性の高い梁に生まれ変わり、ライティング等の工夫をされ、このナグリ柄が活かされると思います。

(株)SNC 住設事業部 Da・Monde 鈴木  
平成 27 年 2 月 9 日